



輝け！北っ子！

令和6年度の学校経営・運営③ ～次年度に向けてしっかり検討中～

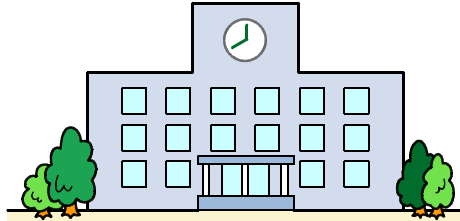
学校だよりNo. 82では学校教育を進めていく上で、前提となる「子ども観」「教師観」「保護者・地域観」をお話しさせていただきました。今回は実際に次年度の学校の核となる「学校運営・経営ビジョン」についてお伝えしたいと思います。

【教育目標】

- 自ら学び、ともに高め合い たくましい児童の育成
 - ・ 長期目標として北小が目指していく理想の姿
 - ※ 令和2年度より変更

【目指したい学校】

- わくわくあふれる学校
 - ・ 活力ある学校の原動力は「わくわく感」 子どもも、教職員も「今日はこんなことしよう」「こんなことしたら楽しいかな」わくわくしながら学校に来れるように
 - ・ 学びに没頭する子 学校が楽しい子 — わくわく感が至る所にあるように
 - ・ 人任せにせず、自分の力で「わくわく」を創りだしていく
 - ・ わくわくは笑顔・元気の素



【子どもにつけさせたい力・目指す姿】

- これからの時代を「生き抜く力」
 - ・ 中教審答申 2030年を見据えて 情報値・知識優先くより実践的な人間
 - ① 主体的に学び合い、必要な情報を判断し、自らの知識を深めて個性や能力を伸ばし、人生を切り開いていくことができる
 - ② 他者への思いやりをもって多様な人々と協働したりしていくことができる
 - ③ 変化の激しい社会の中でも、試行錯誤しながら問題を解決・発見し、新たな価値を創造できる
 総括して → 「生き抜く力」と表現
- 主体的に行動する「自立した個人」
 - ・ 人道的な価値観を身につける
 - ・ 言われたことをしっかりする子
→ 自分で考え、判断し、主体的に行動する子へ



【バックボーンとなる考え】

- +αの心 前向きな物事の考え方/少しずつ少しずつの取り組み 成長
- JRCの理念 人道の精神 自主性 自律 先見 指示のない生活 待ちの姿勢
人道の4つの敵の克服（利己心/無関心/認識不足/想像力の欠如） 等

【重点目標（今年度の目指す子どもの姿）】

- はつらつとした子どもの育成 ・中・短期目標として、「今」目指したい子どもの姿
～はつらつさのイメージ～

weblio 類語辞典 (<https://thesaurus.weblio.jp/>) より 「はつらつさ」

【意義素】人の性質が活気に溢れているさま (類語)・威勢のよい

【意義素】生き生きとしていて、元気さが感じさせられるさま

(類語)・疾走感溢れる ・ 躍動感みなぎる ・ 躍動感溢れる ・ 躍動感のある ・ 弾けるような ・ 飛鳥のような ・ キビキビした ・ 生命感があふれる ・ エネルギッシュな

【意義素】活力や生命力が感じられるさま

(類語)・イキのいい ・ 活発な ・ 活動的な ・ 活力にあふれた ・ 生氣溢れる
・ 生命力のある/溢れる ・ バイタリティのある ・ 元気な ・ 生き生きとした
・ 張りがある ・ 若々しい ・ 躍動的な ・ フレッシュな ・ ピチピチした
・ 健康的な ・ 色鮮やかな ・ 明るい ・ のびのびとした ・ 威勢のいい

【意義素】物事を行う意欲に溢れているさま

(類語)・気合の入った ・ 意志の強い ・ 意欲の高い ・ 気鋭の ・ 貪欲な ・ 意欲的な
・ 心意気のある ・ やる気に満ちた ・ 貪るように ・ 志が高い ・ 意欲に溢れた
・ 気概のある ・ 覇気がある ・ 氣勢のある ・ 根性がある ・ 積極的 ・ 前向き

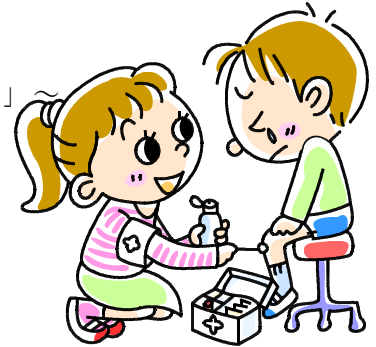
- ・ 子どもたちは基本的にまじめで、素直に言われたことをしっかりと行おうとする「いい子」が多い印象がある。やさしさ・穏やかさもあるように思える。伝統に根ざしたまとまりのある地域性もあり、子どものよさは継続しなければならない。しかし、その一方で、

力があるにもかかわらず、自立的な思考・判断・行動、自己主張や社会性、心の強さ、等は物足りなく感じている。

- ・ もっと広い社会を知り、もっと広く人と関わり、根拠のない自信（自己肯定感）に裏打ちされながら、挑戦と失敗を繰り返すこと（レジリエンス）で子どもたちの潜在能力はもっと開花していく。自分の殻を破り続け、一回り、また一回りと成長を続けていく意欲溢れる子どもの姿を「はつらつさ」と表現した。
- ・ 例年全国学力学習状況調査では、自己肯定感の評価は低い。あわせて、自己肯定感のベースとなる「他者評価」の評価も低い。
- ・ これまでの活動を自己表出の機会の創出、自己肯定感の醸成等の視点から見直していくことがさらに必要。
- ・ 正解のない問い（最適解／納得解）への対応などは、自己表出、自己肯定感の大事な場面となる。

【合言葉】

- 「わくわく」をつくりだそう ～「気づき」「考え」「実行する」
 - ・ 年間通じた合言葉を使うことでより学校の方向性を揃える
 - ・ 学校経営の最もキーとなる言葉から すべてに共通して常に意識化
 - ・ 「つくりだす」 - 自分で 主体性を意識して 子どもも 教師も



【活動の指針】

- 子ども（達）が自分（達）の力で～主体性の伸張～
- 「任せる」「支える」「自己決定」「引き出す」「価値付ける」「結ぶ」「
」」「
」
 - ・ わくわくをつくりだすために常に意識すべきことを明示
 - ・ 主役は「子ども」であること
 - ・ 「任せる」「支える」等は そのための行動を言語化
 - ・ 「
」」「
」はわざと空欄にして、自分で考えて設定できるように。

【重点実践項目／実践事項】

○ 「目の前の子どもたち」にとって「令和6年度」に「重点的にやらなければならないこと」

知

- 主体的な学びの実現
 - ・ 主体的に学ぶ授業づくり（興味・関心／振り返り）
 - ・ 効果的な ICT の活用
- ふるさと学習の充実 ・ 地域教材の活用 ・ 地域人材等の活用
- 学びの基盤整備
 - ・ 「学びの作法」の徹底 ・ 「家庭学習の手引き」の活用

徳

- 自己肯定感の醸成
 - ・ 自己評価、他者評価の継続
- よりよい人間関係の育成
 - ・ あいさつの質の向上 ・ 正しい言葉遣いの推進
- 道徳教育の充実
 - ・ 自己を見つめる時間の充実
 - ・ 家庭と連携した道徳ノート等の活用

体

- 望ましい生活習慣の育成
 - ・ 早寝、早起き、朝ご飯、朝排便の習慣作り ・ 視力低下防止対策
 - ・ 肥満対策
- 安全管理・危機管理能力の育成
 - ・ 感染症予防の徹底 ・ 安全教育の充実
- 体力向上
 - ・ 運動身体づくりプログラムの活用 ・ 正しい姿勢の習慣作り
 - ・ 体力向上デーの設定



保護者の皆様からの声をお待ちしています。

～学校に対するご意見・ご感想等お気軽にお寄せください（または assist.nihonmatsukita-c@fcs.ed.jp まで）～

..... 切 り 取 り 線

